

ITUより新年のごあいさつ



ITU 事務総局長

Houlin Zhao

この度は、ITUジャーナルを通じ日本のITUコミュニティの皆様にご挨拶する機会をいただき大変光栄に存じます。皆様にはITUのキーパートナーとして技術標準化や無線通信分野、さらに途上国への情報通信技術 (ICT) の普及、促進などITUの活動に多大な貢献を賜っております。

2017年の活動を振り返りますと、先ず、国連が制定している「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に向けて、ITUが世界の国々と共に革新的なICTの活用を通じた数多くの人々の生活向上に貢献してきました。

昨年2月、ITUのメンバーはIMT-2000のキーとなる機能要件を決定し、超高速で超高信頼性の通信を5Gモバイルシステムで実現させることを合意しました。また、昨年6月には世界のトップレベルの人工知能 (AI) 専門家と共に「AIのためのGood Global Summit」を開催し、貧困、飢餓、健康、教育などのグローバルな課題をAIによってどのように解決すべきか確認しました。

他方、ITUのフォーカスグループ、Digital Financial Servicesは、世界で20億人と推定される銀行を利用できていない人々に対して、デジタル金融サービスを利用できるようにするための85の政策勧告を発表しました。昨年7月にはデジタル金融サービスのセキュリティに焦点を当てた規制当局者によるグローバルシンポジウム(GSR)を開催する一方、途上国を対象とする「金融サービスを受けるためのグローバルイニシアティブ(Financial Inclusion Global Initiative)」を立ち上げました。

昨年Girls in ICT Dayには世界中で数百ものイベントが繰り広げられ、技術分野でのジェンダー平等の進展に寄与するとともに、ITU及び国連に所属する女性陣は50を超える世界中のパートナーとともに「EQUALS」(デジタル時代のジェンダー平等ネットワーク)を立ち上げました。

昨年6月に開催された「世界情報社会サミット (WSIS)」にはICT関係者が2,000人以上集まり、そこではSDGsに向けた

新たなツールやイニシアティブが発表されました。ITU世界テレコム2017 (韓国釜山) では9,000人を越える関係者が参加し、技術革新やビジネスパートナーシップが促進されました。他方、ブエノスアイレス開催の世界電気通信開発会議 (WTDC) では、電気通信開発セクターの今後4年間にわたる政策課題が承認され、SDGs達成のためのICT活用拡大が合意されました。

昨年は他の国連機関とも革新的な連携が生まれました。国際労働機関 (ILO) とは2030年までに500万人の若者を対象に、就業に役立つデジタル技術習得のための訓練を実施するキャンペーンを立ち上げる一方、国際連合食糧農業機関 (FAO) とはe-農業の促進を協力して進めることで合意しました。また、世界気象機関 (WMO) とは救命用気象予報のための無線通信システムの活用を進めました。さらには世界保健機関 (WHO) とは共同でアフリカにおけるデジタル技術を用いた医療サービスの強化を行いました。

また、ITUは、ICTの政策動向と経済的影響に関する初めての調査レポート、「Global ICT Regulatory Outlook 2017」を発行したほか、「Global Cybersecurity Index」の発刊により、各国におけるサイバーセキュリティに対する能力の開発と強化に向けた戦略的な決定に必要となる情報を提供しました。

昨年、電気通信開発セクター創設25周年やCCIR/ITU-R研究委員会の90周年など、ITUにとって歴史的な行事が行われました。

また、皆様とぜひ分かち合いたい事柄として、「ITU Journal: ICT Discoveries」が創刊され、また、超高精細テレビ(UHDTV)の動画圧縮規格 (HEVC:ITU-T勧告H.265 | ISO/IEC 23008-2) が顕著な技術成果として評価され、「プライムタイム・エミー賞」をパートナーと共に受賞の栄誉を得たこともうれしい出来事でした。

昨年私個人にとっても大いなる喜びとなったことですが、フランシスコ・ローマ教皇に拝謁する機会が得られました。その際、教皇からは、世界の最貧困層の人々にも社会・経済資源へのアクセス機会をもたらすICTの役割とこれを支えるITUの役割へのご支援を表明いただきました。

さて、こうした全ての活動において日本の政府、産業界、学术界、そして日本ITU協会がアクティブにご参加くださっていることをITUはよく認識しています。私自身、日本がこれからも引き続きITUの諸活動に貢献してくださいと確信していますし、1879年の加盟以来、ITUを支援し続けてこられた日本に心から感謝しています。

最後に、日本の全ての友人の皆様、パートナーの方々、ご家族の皆様にとって2018年が平和で繁栄の年となることをお祈り申し上げます。